



歯から  
元気!

# カカム

## 訪問歯科診療ニュース

「カカム通信」は訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

# 噛む噛む 通信

2015.10  
Vol.

# 126

### SOS DENTIST

発行 / SOSデンティスト  
日本訪問歯科協会  
〒101-0037  
東京都千代田区神田西福田町4  
ユニゾ神田西福田町ビル8階  
TEL: 03 (5297) 5073  
FAX: 03 (5294) 1150

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで… ☎ 0120-099-505

# かむ COME COME かむ 倶楽部

「特別養護老人ホーム南寿園」(秋田県)では、今年の4月から、日本訪問歯科協会のサービスを利用して、システム化された対応で往診の流れがスムーズになり、ご利用者様のお口の健康状態も把握しやすくなりました。

## 往診の治療と一緒に 立ち会える安心感



特別養護老人ホーム南寿園  
相談係長 廣庭 功さん  
看護師 鈴木美貴子さん

## 確立されたシステムで 往診や相談会もスムーズ

今年の春先に、日本訪問歯科協会からご提案いただき、ちょうど年度替わりのタイミングだったので検討することになりました。

何力所かの訪問歯科診療を受けてみることで、それぞれのメリット

メリットなどが見えてくるのではないかと考え、併用するつもりで導入させていただきました。結果としては、やっていくうちに、日本訪問歯科協会1つに絞られていきました。日本訪問歯科協会は、提携している地域の歯医者さんが内部研修をしていただけることや、ご利用者様向けの『お口の健康相談会』を行い、その結果をご家族にもきちんと伝えるなど、サービスのシステムがしっかりしているところがよいと思われました。また、ときには歯医者さんとの間に協会の担当者が入って、中継ぎをしてくれるので、組織的で物事が進めやすいという利点もありました。

(廣庭さん)

## 歯医者さんに相談しやすい 環境が整った

以前来ていただいた訪問歯科診療は、専用のバスの中での治療で、治療後に報告を受けていました。しかし、今はご利用者様のお部屋で治療が受けられるので看護師も立ち会うことができ、歯医者さんが何をやっていくかがわかるので、とても身近に感じられるようになりました。

また、歯医者さんに直接いろいろと相談できる環境になったのもありがたいです。ご利用者様の中には「ここが痛い」「違和感がある」ということを歯医者さんにはうまく話せずに、職員に訴えてくることがあるので、それをきちんと伝えることができるからです。

今年の4月から日本訪問歯科協会経由で歯科の往診を受けるようになり、最初は手探りでしたが、数カ月経って往診の予約や診療日などの流れができてきました。新たに治療を始める方もいますが、まずはご利用者様が介護スタッフに話し、介護スタッフから看護師へ話かぎ、それをすぐに先生に伝えるという流れが浸透し、今はとてもスムーズに回っています。

今後は職員向けの口腔ケアの内部研修や講習会を開催し、意識レベルのアップを図っていききたいと思います。

(鈴木さん)

## 今日から始める、簡単お口のケア! ポイント アドバイス

**誤嚥を気をつけたい食べ物**  
高齢になると、唾液の分泌量が減り、噛む力や飲み込む力が弱くなるため、食事中にむせやすくなったり、誤嚥しやすくなったりします。飲み込みの問題がある場合は、次のような食べ物には特に注意が必要です。

- 水分が少ないもの  
パン、カステラ、クッキー、いも類、ゆで卵などは、バサバサして口の中でまとまりにくいので、水分と一緒に取りましょう。
- 口の中にくっつきやすいもの  
焼き海苔、ワカメ、もなかの皮、薄切りキュウリなどの生野菜、だんご、あんこなどは上あごやのどなどにくっつきやすいので気をつけましょう。
- つるつると入りやすいもの  
とろろてん、こんにゃく、桃の缶詰、刺し身など、つるつとした食べ物、噛まずに飲み込んでしまい、のどに詰まらせることもあります。

- さらさらの液体  
嚥下の問題がある人ではお茶や水などの液体も誤嚥の原因になるので、とろみをつけたりゼリー状にします。
- 小さいもの  
ごまや大豆、ピーナツなどは息を吸い込んだときに気管に入ってしまうこともあります。
- 酸味が強いもの  
酢の物や柑橘類、梅干しなどはむせやすくあります。